

あなたの出番です!! W.Coが創る豊かな暮らし

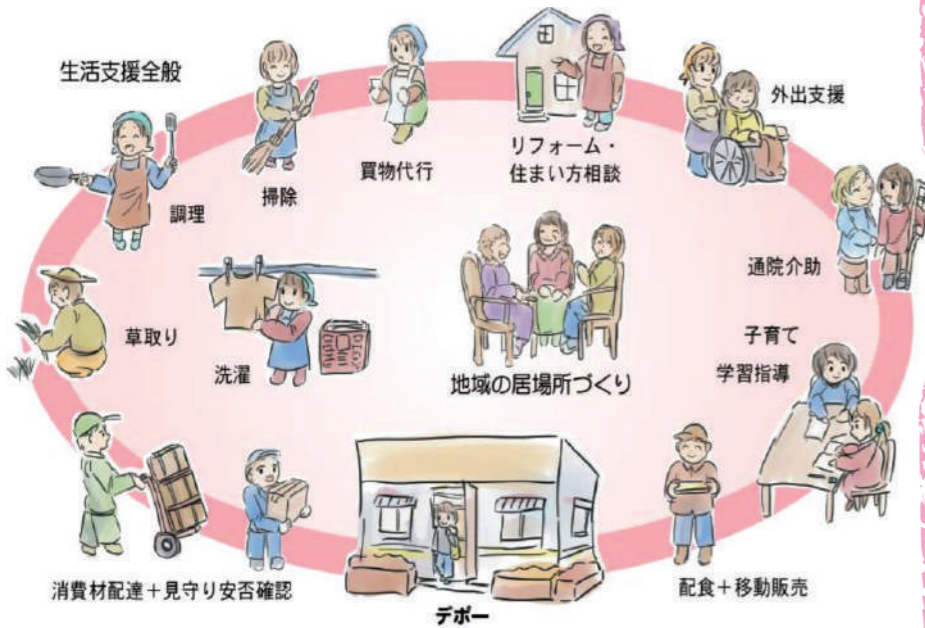
みんなが集まる
地域をつなげる
交流の場

地域福祉部会編

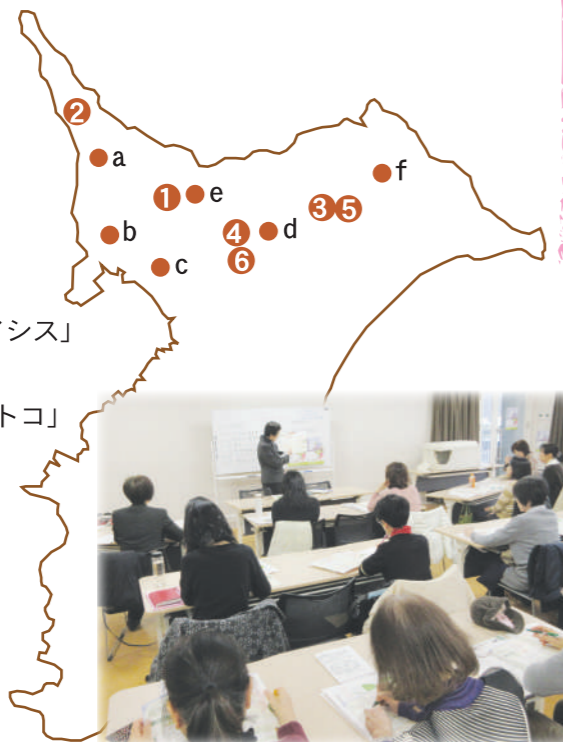
地域であなたの生活に寄り添います!!

地域福祉部会とは

地域・福祉部会は、ワーコレの拠点活動を福祉の視点で再構築することで、少子高齢社会を映す様々な課題に正面から取り組んでいます。「街の縁側」「高齢者の不自由さに寄り添って生活を支える」「子育ての不安に寄り添って手伝える」などを、自立した市民参加型の非営利事業として推進し、社会背景を反映し、住み続けられる街づくりに繋げていく専門部会です。



- ① (NPO) W.Coういず
 - a. から風流キッズ
 - b. ねこの手 市川
 - c. ねこの手 船橋
 - d. ねこの手 さくら「オアシス」
 - e. 民家ギャラリー
 - f. ふれあいカフェ「クルトコ」
- ② (企) W.Co紙ふうせん
- ③ W.Coふくちゃん
- ④ (NPO) W.Co風車
- ⑤ 葬祭さぼーと千葉
- ⑥ (企) W.Co回転木馬



エンディングサポート

～こんな時、こんなW.Coがサポートします～

W.Coの協働事業の一つとして、人生の終焉のサポートをする「エンディングサポート」について、生活クラブ虹の街と共催で講座を開催しました(2/10)。

幅広い年代の方23名の参加があり、ニーズがうかがえます。当日の構成は、各団体から以下の説明が行われました。



- 1 W.Co F Pの会*の藤井さんによる「ライフプランから考えるお葬式」
逝去からお葬式までの流れ ②お葬式の形 ③葬儀の打ち合せのポイント
- 2 生活クラブ葬祭サービスの松谷さんから、生活クラブのオリジナルのお葬式「風の旅」やエコ棺についての説明。
- 3 虹の街 神谷理事からはエコロ制度の内容全般について。
- 4 W.Coからは葬祭さぼーと千葉の高野が葬儀の打ち合せから同席し、納得のいくお葬式にするためのお手伝いについて。

最後にW.Coねこの手市川・船橋の飯沼さんから、葬祭さぼーと千葉との連携の事例が紹介されました。葬儀の打ち合わせをしていく中で、ご家族から葬儀最中のおばあちゃんの見守りができないか、との相談があり、エコロ制度を利用してケアを受けることができました。昼食はW.Co樹〈ボナベティ〉による通夜振る舞いや法事の仕出し弁当を試食し、金額や内容について説明がありました。参加者からは「食べ慣れた味で安心」という嬉しい声も聞かれました。企画全体では「お葬式のイメージができるようになった」「葬儀時、どのようなことに気を付けたら良いのかわかった」との感想があり、今後もW.Coがエンディングの際に役立つ一員となって、様々な団体と連携していきたいと思っております。



(葬祭さぼーと千葉 高野優美子)

* F Pの会とは…主に生活クラブ生協の組合員対象のライフプラン講座の企画、講座への講師派遣、及び個人相談の3つの事業を中心に活動しているワーカーズコレクティブです。

これからの地域福祉部会

3年前に地域・福祉部会が新設されました。部会は、同じ福祉でも、託児、生活支援、居場所、葬祭サポート、リサイクルショップなど、業種の違う事業所の集まりなので、お互いを理解するまで時間がかかりました。

すべてのワーカーズが、業種は違って連携すれば今までできなかったことができる、その仕組みづくりを担っていきます。また、地域で何かしたいと思っている人や、何かしてほしいと思っている人をつないでいき、居場所を作っていくコーディネーターの役割を、地域・福祉部会でできたらと思っています。

また、エンディングのイベントを毎年続けていき、ワーコレができる葬儀を広めていきます。

(地域・福祉部会 鈴木二味子)

事業所紹介

佐倉の地に根を下ろして30年

回転木馬はリサイクル、幼稚園給食、自然食品・地元の無農薬野菜の販売、展示会、各種教室の開催と、地域に必要な事業を展開してきました。そして今は、生前整理・遺品整理の仕事も始めています。「断捨離」「終活」と言われている昨今、少しでもお手伝いできればと、地球環境を守るため、資源を無駄にしない地域づくりから始まり、安心できる素材で幼稚園給食を提供しながら、地域の若いママたちに遺伝子組み換え問題などの話をし、食の安全を広めてきました。



佐倉市議会に代理人を出すなど、街づくりを積極的にすすめてきました!

今後も、地域の皆様との交流をますます深め、情報を共有できる場になっていければと思っています。(W.Co回転木馬)

みんなが来る処=「クルトコ」オープン

1月30日、1年の準備期間をかけて柏市大津ヶ丘中央商店会の一角にふれあいカフェ「クルトコ」がオープンしました。地域の運営委員や登録ボランティアさん20名ほどが当番制で森のコーヒーをいれ、接客を担当しています。クルトコは、NPO法人ワーカーズコレクティブういずが柏市から補助金をうけて、商店会の空き店舗を改修して建てられたコミュニティカフェです。開設にあたっては、地域の通いの場にする、介護予防と生活支援の地域拠点になっていくことが求められ、地区社協や民生委員や町会・自治会との協議の中で、どうしたら「地域の通いの場」になるか、どうすれば「継続」「採算」「自立」ができるか、模索しながら進めてきました。



店の名前は、近隣の小中学校から公募され370通の回答の中から小学2年生の女の子の「みんなが来る処=クルトコ」が採用されました。まだオープンから日も浅く、戸惑うことが続いているようですが、名前の通り、こどもから大人まで誰でもふらっと立ち寄れる地域の通いの場になることを目指していきます。是非一度、ご来店ください。

(W.Coういず)